

氏名	本 田 透
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3793 号
学位授与の日付	平成 14 年 12 月 31 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	変形性膝関節症における高位脛骨骨切り術後の骨変化-脛骨近位部と膝蓋骨に生じる単純X線写真上の輝度変化-
論文審査委員	教授 平木 祥夫 教授 清野 佳紀 教授 光嶋 勲

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

内反変形膝にみられる変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術(HTO)の効果客観的に評価するために、HTO を受けた 57 膝について、X線写真上の脛骨近位部と膝蓋骨の光学的輝度を、参照体であるアルミステップの厚さに換算して測定した。HTO 後の下肢のアライメントにより、対象膝群を過度矯正群、適度矯正群、矯正不足群、矯正失敗群に分類した。脛骨近位部の輝度は、過度矯正群では外側の荷重部で、適度矯正群では外側から中央で、また、矯正不足群では外側から内側まで全体に高くなっており、関節面への荷重の状態に応じた変化を示した。膝蓋骨の輝度は、HTO 前には外側が内側よりも高いが、HTO 後はその差は小さくなり、特に適度矯正群でその傾向がみられた。この結果は、HTO により適切に下肢のアライメントを矯正することにより、大腿脛骨関節のみならず膝蓋大腿関節についても変形性関節症を軽快させる効果が期待できることを示唆している。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術 (HTO) を受けた 57 膝について、HTO 前後の X 線写真における脛骨近位部と膝蓋骨に生じる光学的輝度の変化をデジタル化し、下肢アライメントの変化との関係を解析したものである。その結果、脛骨近位部の輝度は、関節面への荷重の状態に応じた変化を示し、膝蓋骨の輝度は、HTO 前には外側が内側よりも高いが、HTO 後はその差は小さくなり、特に適度矯正群でその傾向がみられることを明らかにした。これらは、HTO の治療効果を評価する上で重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。